

報道発表資料
平成19年3月13日
気 象 庁

静止気象衛星ひまわりの中規模利用局向けデータ直接配信の障害について

本日、15時（日本時間）頃から、ひまわり6号（MTSAT-1R）経路による中規模利用局（MDUS）向け衛星画像データ（HRIT）の配信において、何らかの電波混信により、画像の乱れが生じています。17時現在、依然として混信は続いているようですが、混信のレベルは下がっており、画像受信への影響の程度は低くなっています。

直ちに総務省関東総合通信局に報告するとともに、引き続き混信の状況をモニターしているところですが、混信波の発信源は現時点では不明です。

（総務省の電波監視センターからの報告では、「関東地方からは、該当する電波は発射されていない模様」とのこと。）

なお、MDUS向けHiRID、小規模利用局（SDUS）向けLRIT/WEFAX、気象業務支援センター経由民間気象事業者向けランドライン配信、気象庁ホームページについては、本件とは関係なく、正常です。

参考：MDUSの受信局は、国内21局、海外37局あります。

これらMDUS向けには、HRITのほか、HiRIDも並行して配信しています。

本件に関する問い合わせ先：

観測部気象衛星課

（内線 2273）